

CONTENTS

- パーソントリップ調査とは …1
- 第4回  
“交通健康診断”の報告です …3
- 視点1 高齢社会 …7
- 視点2 冬・雪 …9
- 視点3 環境 …11
- 視点4 活力・産業 …13
- 視点5 まち・暮らし …17

パーソントリップ調査とは

？ 「パーソントリップ調査」って なに？

パーソントリップとは、「人(パーソン)」の「動き(トリップ)」を意味します。パーソントリップ調査は、「どのような人が」「いつ」「どこからどこへ」「どんな目的で」「どのような交通手段で」移動したかを把握し、1日のすべての動きをとらえる交通実態調査です。

？ パースントリップ調査の対象範囲は？

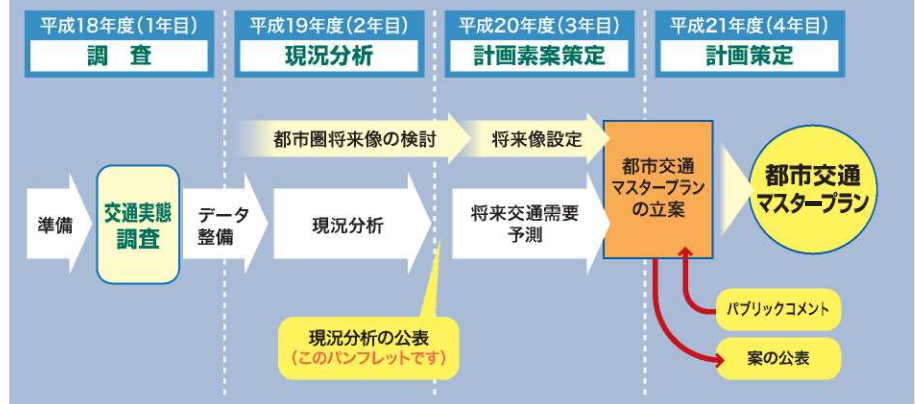
今回(平成18年)の調査対象範囲は、下図に示す7市3町(石狩市は旧厚田村・旧浜益村を除く「旧石狩市」のみ)です。これら札幌市を中心とする、通勤・通学や買い物など、交通面でのつながりの強い地域を「道央都市圏」として調査対象範囲としています。  
「道央都市圏」では、これまで同様の調査を約10年ごとに3回実施しており、今回で4回目になります。



？ 調査結果はどのように使われるの？

パーソントリップ調査の結果は、将来の交通に係る計画立案の基礎データとして活用されます。  
パーソントリップ調査データをもとに、道央都市圏の交通実態を総合的に分析することによって、交通の現状・課題が明らかになります。そしてこれらを踏まえて様々な施策・計画の検討が進められていきます。

スケジュール<検討の流れ>



## 第4回“交通健康診断”の報告です

※道央都市圏パーソントリップ調査から得られたデータには、を付けています。



道央都市圏では、マチの“健康診断”ともいえるパーソントリップ調査を、これまで昭和47年、58年、平成6年と約10年ごとに3回実施しています。調査の都度、人の動きを把握して、将来のまちづくりのための都市交通計画マスタープランをつくり、交通施設の整備が進められてきました。

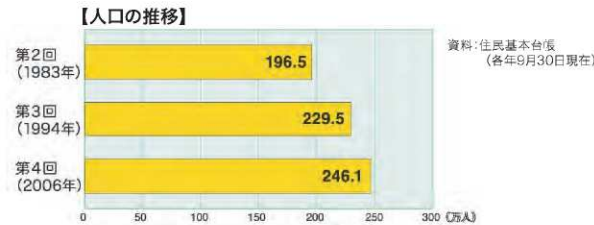
これまでの順調な成長に対し、昨今、都市をとりまく社会環境が大きく変化(少子・高齢化、人口減少、地球環境問題など)しており、その変化を的確にとらえてこれからの道央都市圏の、のぞましい都市交通体系を検討する必要があります。

このことから平成18年に第4回目の調査を実施し、約10万人の皆様にご協力をいただきました。

### 総トリップ数の増加は止まってきたようです

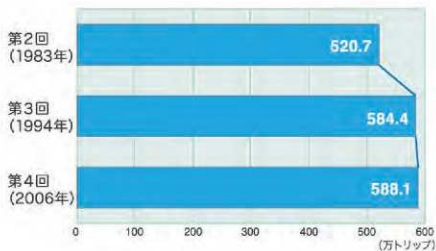
道央都市圏全体での人口は未だに増加しているものの、1人あたりのトリップ数が減少傾向にあるため、総トリップ数は前回から横ばいとなっています。

道央都市圏の人口は増加傾向にあります。



道央都市圏の総トリップ数は前回調査時からほぼ横ばいとなっています。

【道央都市圏の総トリップ数の推移】

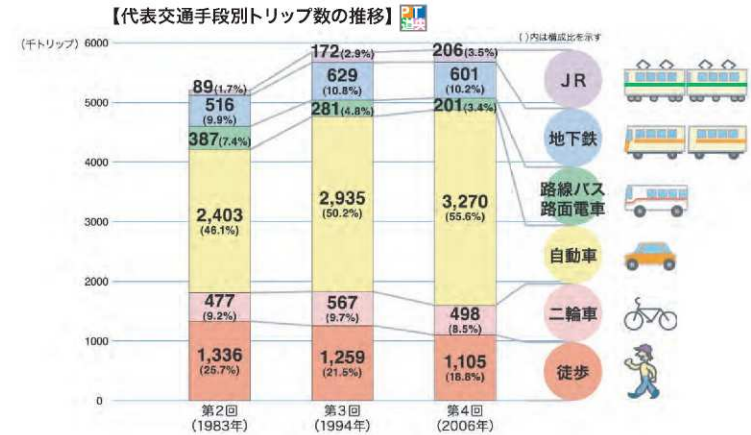


道央都市圏における1人当たりのトリップ数および外出率は、第2回以降、減少傾向にあります。



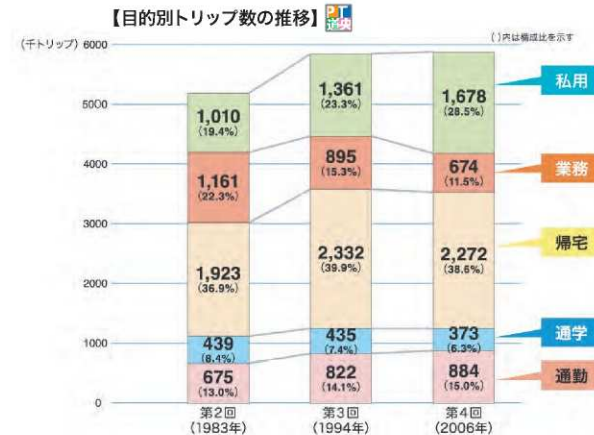
### 交通の「質」は変化を続けています

代表交通手段\*では「JR」「自動車」の伸びが顕著です。



\*代表交通手段とは、複数の交通手段を使った場合の主な手段のことです。交通手段の優先順位は、鉄軌道(地下鉄・JR) > バス・路面電車 > 自動車 > 二輪車 > 徒歩の順です。

移動目的では「通学」と「業務」が減少し、「私用」が増加しました。






## 第4回“交通健康診断”の報告です

※道央都市圏パーソントリップ調査から得られたデータには  を付けています。


### 地域間の人の動きが変化しています

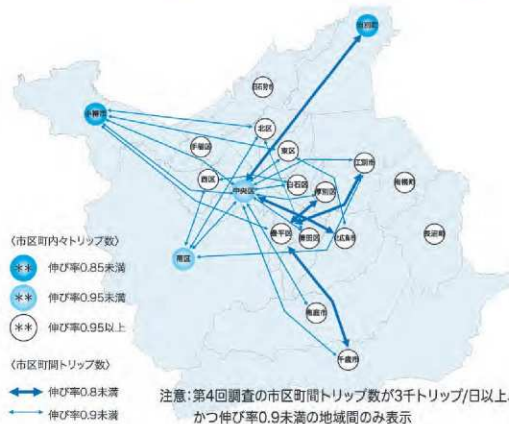
清田区と北広島市・恵庭市、厚別区と江別市、手稲区と小樽市・石狩市など近郊の市区間移動が高い伸びを示しています。また、ひとつの市区町内で完結する交通（内々交通）は小樽市を除く周辺市町で増加しています。

【市区間移動の動きが増加した方向】(第3回・第4回調査結果) 



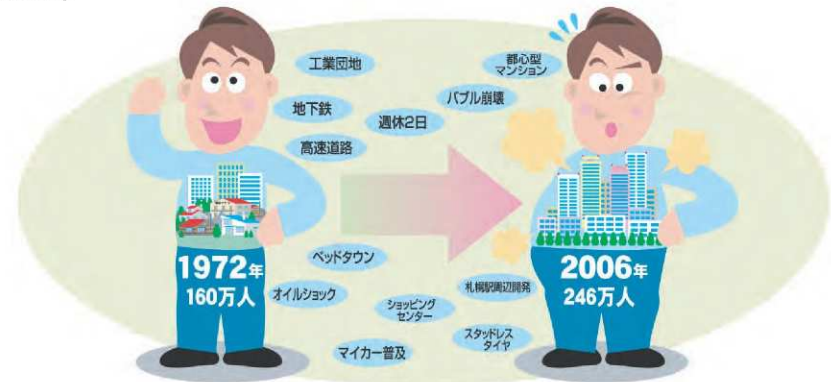
中央区発着交通が減少しています。特に一定の距離をもつ北広島市や当別町との間では約2割の減少となっています。

【市区間移動の動きが減少した方向】(第3回・第4回調査結果) 



### 道央都市圏は、そろそろ体型が気になるお年頃？

これまでのパーソントリップ調査結果を見ると、道央都市圏の交通は「成長期」から「成熟期」に移ってきたことがわかります。これからは成長を見込んだ「服」(交通施設)を作るのではなく、「健康な体」(まち)を維持することが大切です。



「健康なまち」であるために… 「交通のあり方」を考えるための5つの視点

#### 1 高齢社会

急速に進む高齢化  
お年寄りが安心して出かけられる環境づくり



#### 2 冬・雪

世界にも類を見ない積雪寒冷地の大都市。  
雪に対応した交通



#### 3 環境

温暖化対策交通でできることは何か？



#### 4 活力・産業

北海道の核として北海道経済を引っ張っていくために



#### 5 まち・暮らし

人の暮らしは日々変化します。まちづくりと交通と一緒に考えよう



この5つの視点で診断結果を見てみましょう